

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ONE RISE		
○保護者評価実施期間	2024年 8月 1日		2024年 8月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2024年 8月 1日		2024年 8月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	新一年生(小学校)を中心に、落ち着いて学校生活を過ごす事が出来るように療育を行っている。	小学校と同じように机とイスを用意し、落ち着いて過ごせるように環境を整えている。	個々の特性に応じた療育が出来るように、個別での対応も取り入れていく。
2	季節に応じた活動を取り入れている。	職員だけで企画や製作を行うのではなく、子ども達にも参加してもらおう事で、季節に移り変わりを感じてもらうようにしている。	四季の移り変わりだけではなく、月毎の催し物なども行っていきたい。
3	外での活動を多く取り入れ、様々な経験・体験(社会見学・買い物体験など)を行っている	事前に入念に会議を行い、下準備を行っている。また個々の特性に応じて職員を配置しており、外出の際には危険がないように注意している。	特定の利用者に偏らないように、実施する曜日などを検討する必要がある。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	新一年生が中心という事もあり、騒がしい場面が多々見られる。そういった場面での職員のスキル不足を感じる。	送迎に出ている職員・受け入れの職員がほぼ固定される事で職員の配置に関して偏りが出ている。	それぞれの職員に対して、研修等への参加を促していき、支援スキルの向上を図る。また、配置に関して他事業所を含め異動なども検討していく必要がある。
2	活動のスペースが狭いと感じる時がある。	利用人数が多くなると、多動な児童とそうではない児童がいる為。	ワンフロアとして使用して為、間仕切りなどを活用し、子ども達のスペースを確保していく。
3	現在事業所周辺でマンションの建設が多く、騒音の問題が発生している。		聴覚過敏の児童に関しては、外での活動を取り入れたり、他施設との併用を促すなどの対応を行う。